東日本ユニオンにいがた

JR東日本労働組合新潟地方本部

２０１７年４月２０日発行

第２４号（通巻第５６号）

発行者：岡村広志　編集者：教育・広報部

http://www.geocities.jp/higashinihonunion_niigata/

設備職場の実態に即した施策の見直しを

新潟地本は３月17日、申９号として設備職場における「技術継承、安全・安定輸送」を実現するための申し入れを提出しました。

２００１年の「設備部門におけるメンテナンス体制の再構築」をはじめ、２０１０年の「設備部門におけるメンテナンス体制の改善」施策以降、設備職場で働く組合員は、採用断層の影響からくる世代交代・技術継承が大きな課題となる中、老朽設備更新を万全に遂行していく「使命」を背負い、安全・安定輸送の確保のために日々奮闘し質の高い労働力を提供してきました。

しかし、この間実施されてきた施策を担うことによる業務量増加により、技術力の維持・向上に弊害が生じる等、施策実施の目的とかけ離れた実態をも生み出しています。

安全・安定輸送を実現するために技術継承は労使共通の重要な課題であり、課題克服の為には現場第一線で奮闘する組合員の感覚を取り入れることが重要です。

新潟地本は３月17日、現場で発生している諸課題について労使で認識一致を図り、諸課題の改善を通じて「究極の安全」を実現するために、設備職場における「技術継承、安全・安定輸送」を実現するための申し入れを提出しました。

◆ 申９号　申し入れ項目 ◆

【共通】

1．平成22年12月に実施した施策における成果と課題を系統毎に明らかにすること。

2．設備職場における将来展望について以下の項目を系統毎に明らかにすること。

① 社員数及び年齢構成について

② 大規模工事計画について

③ 技術継承について

3．長期間研修（技術アカデミー、国内大学派遣制度、実践管理者育成研修）、産休、育児休暇、介護休職等の期間は要員を補充すること。

4．支社及び地区で開催される各種会議について、各現場には業務実態を考慮した要請とすること。

5．標準数の算定根拠を系統毎に明らかにすること。また標準数の要員は確保すること。

6．「新体制業務マニュアル」を最新の内容に更新すること。

7．平成22年12月以降実施した以下の施策を廃止すること。

（保線関係）

① 一部拡充した分岐器軌道変位検修

②「原則ＪＲ線閉」とした分岐器部分交換及び橋マクラギ交換

③ エリア別軌道管理

④ 随修工事に伴う予算管理

（電力関係）

①「検査内容の拡充」

（信通関係）

①「検査内容の拡充」

②「メンテナンスセンターの単価契約工事発注権限の拡大」

【個別】

（保線関係）

1．保線技術センターに検査及び修繕、立会いを行う専門グループをつくること。

（電力関係）

1．軌陸ユニック車、高所作業車（軌陸タイプ）を技術センターに1台配備すること。

横浜地方本部で

社会人採用の仲間が加入！

4月12日付

新たな仲間と共にがんばろう！

「管理手当等の見直しについて」会社提案を受ける

中央本部は４月６日、経営側より「管理手当等の見直しについて」の提案を受けました。

＝経営側の提案内容＝

急激な世代交代の中にある当社において、仕事を通じて自らの成長を実現しようとする社員の意欲に応えるとともに、職場において技術・技能・知識などを継承する体制をさらに充実・強化することを目的として、平成24年度に人事・賃金制度を改正した。

管理手当等については、職場の諸課題に対応するために重い職責を担い、意欲を持って取り組む主務職及びＴ等級以上の社員に対して支給することとした手当であり、世代交代がピークを迎えている現在、人材育成や技術継承などの職場の諸課題に対応する主務職及びＴ等級以上の職責の重さを賃金に反映する必要性が増していることから、管理手当等を見直すこととする。

実施期日は平成29年４月１日（土）。

提案された支給額区分等

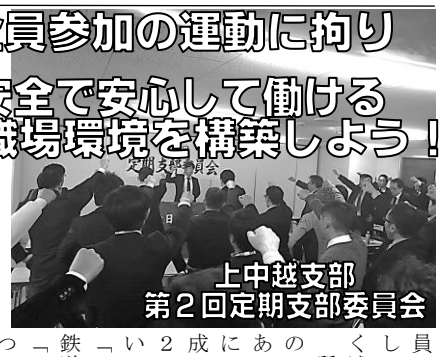
（1）一般社員　※上段は提案された支給額区分、下段は現行の支給額区分

等級	支給額区分
主幹職Ａ	**62,000円、57,000円、47,000円、42,000円、37,000円**
	60,000円、55,000円、45,000円、40,000円、35,000円
主幹職Ｂ	**57,000円、42,000円、37,000円、34,000円**
	55,000円、40,000円、35,000円、30,000円
技術専任職	**57,000円、47,000円、42,000円**
	55,000円、45,000円、40,000円
主務職	**42,000円、37,000円、32,000円、31,000円**
	40,000円、35,000円、28,000円

（2）医療社員

等級	支給額区分
Ｈ等級	62,000円、57,000円、52,000円
Ｍ等級	57,000円　52,000円、48,000円
Ｓ等級	57,000円、47,000円、42,000円
Ｔ等級	42,000円、37,000円、31,000円

全員参加の運動に拘り 安全で安心して働ける職場環境を構築しよう！



上中越支部は３月25日、長岡運輸区講習室において、委員、傍聴者など総勢44名の組合員が結集し、第２回定期支部委員会を開催しました。

木村委員長の挨拶では、「支部組合員同士が互いに信頼・協力し合い、安心して働ける環境を職場から創り出し、組織強化・拡大の取り組みを今定期委員会からスタートしていこう」と力強く述べられました。

質疑では、すべての委員から発言があり「２０１７春闘における取組みの成果と課題」「１７２５Ｍの事象について感じたこと」「えちごトキめき鉄道の現状と課題」「運動の一元化について」など、業務的・組織的課題や、取り組みを通じた中での成果、教訓などが語られました。

上中越支部は大会以降、Ｅ１２９系導入に伴う上越線・信越本線ワンマン運転拡大の問題や２０１７春闘など、全員参加の運動に拘り、職場からたたかいを創り出してきました。

そして冬期問題やＥ１２９系に関わる諸問題などにおいて、団体交渉を通じて多くの要求を実現してきました。

しかし一方で１７２５Ｍが走行中にビームから落下した雪塊に衝突し、運転士２名が負傷する重大な事象が発生し、この間、会社が進めてきた効率化による弊害として異常時に即応できない現場実態も浮き彫りになりました。

今後も業務的課題を通じ、組織の強化・拡大に向けた運動づくりに邁進し、働きやすい労働環境にしていくために、支部全体が一致団結していかなければなりません。

上中越支部は今後も、全員参加に拘りを持ち、先頭に立って運動を進めていきます。

次期大会までの間、組織の強化・拡大と、支部運動の更なる飛躍を勝ち取ってまいります！

（上中越支部　投稿）